



今、畑で超元気な野菜はオクラです。オクラは紀元前から食べられているそうです。アフリカ北東部が原産地でヨーロッパを経てアメリカに渡り日本に入ってきたのは明治の初期頃です。原産地や熱帯では多年草というので驚きます。日本では霜が降りるとダメになり越冬はできません。胃腸の調子を整え、夏バテ防止に役立ちます。本日オクラを入れる予定でしたが、ゴーヤがたくさん採れたので次回に入れたいと思います。

お届けの野菜 玉葱・アンデスレッドじゃが芋 (ホクホクして甘味・旨味あり。煮崩れするタイプ。)

・ピーマン・きゅうり・モロヘイヤ・はぐら瓜 (ポリ袋に入れて白だしや塩昆布などで浅漬けに。)

簡単レシピ ジャーマンポテト

<材料>ジャガ芋 2個 タマネギ 30g スライス ベーコン 2枚 ニンニク 1かけ

バター 大さじ 1 塩 少々 コショウ 少々

<作り方>1 ジャガ芋は皮をむき、1cm幅にスライスし、ラップで包み2分加熱し、そのままおき、中まで火を通しておく。

2 食べやすい大きさにカットしたベーコンとニンニクをフライパンに入れ弱火でじっくり炒め、途中でニンニクを取り出す。ベーコンがカリカリになったらバターを入れ、1のジャガ芋とタマネギを加えよく炒め、塩、コショウで味を調える。

3 皿に盛り、ニンニクチップスをトッピングする。

作業日誌 ・茎ブロッコリー・ブロッコリー・枝豆・キャベツ・芽キャベツ・きゅうり・ケール・ひとみ人参の種まき、葱・里芋などの草取り、育苗ハウスや作業ハウスに遮光ネットをはる、ハクビシン対策でスイカ畑のまわりにネットをはる、草刈り、耕運など。

野菜ともだちの声 ・荒木さんのきゅうりがおいしいので四葉きゅうりの苗を1本買ってプランターで育ててみました。大きく育って15~6本とれました。おいしいです。(北さん談)

8月の絵本の紹介 市川市の野菜ともだちの田中さんが紹介してくださいました。

ひとのなみだ 内田麟太郎 文 nakaban 絵 童心社

私の紹介文に代えてこの絵本の内田さんの後書きを載せます。彼の思いが溢れています。nakabanさんの絵も力強く重い。

ひとでいたい

(前略)

私の中にはいつもくすぶっている問いがあった。それは私たちの(今の戦争)だった。私たちも、いま、戦争を生きていると感じていたからだ。それは「ひとはひとを殺していいのか」「おまえは、そのときひとを殺さないといえるのか」、自分へ問い続けている私がいるということだった。

私は「殺さない」と断言できない。しかし、「殺す」ともいえない。とまどいの中に私はいる。あなたもそうではないだろうか。

戦争は人間を敵か味方かに単純化してしまう。それが戦争だといっている。あなたが「敵だ！殺せ！」

だが、人間はそんなに単純ではない。戦場で突然目の前に現れた敵兵に、撃つのをためらった人の話もある。ロボットの兵士はためらうこともなく撃つだろう。また、敵の家族の悲しみを思いやることもないだろう。ましてや、涙を流すことなどは。敵か味方か。私は。ただ、敵を殺すだけのロボットにはされたくない。私はひとだ。そのことを同時代のあなたと語り合いたかった。

ためらうひとでいること。涙を流すひとでいること。私たちのいまは、私たちに呼びかけている。敵か味方かという、単純な二分法を超え、国境なきにんげんになろうよと。ひとに会いに行く。

8/22 (木) 玉葱・じゃが芋・オクラ・ピーマン等 野菜の傷みや代えて欲しい野菜がありましたらご連絡頂けると助かります。



非戦と平和の願いを込めて
同時代のあなたにおくる
近未来の戦争を描いた物語

内田麟太郎
文
nakaban
絵

だんごのついでに、おまんこも食べてね。おまんこは、おまんこでいい。おまんこでいい。